

農業委員会だより第5号発行にあたり

日頃は農業委員会へのご理解とご協力を賜りありがとうございます。20年産米の作付状況と今後の需給予想が発表され、作付面積は1.3万ha減少したものの、作況指数が101となり、国が示した適正生産量を最大25万t上回る予想です。

需給予想はコロナウイルスの影響もあり、21年産米の適正生産量は679万tと20年産米の生産量から50万tの減産が必要で、面積換算で10万ha規模の転作が必要とのことです。21年産米の作付け計画に大きな影響を与えることが心配されます。

今年3月に閣議決定された新たな食料・農業・農村基本計画では10年後の食料自給率目標をカロリーベースで45%に設定したほか、農業委員会関係では農業の持続的発展に関する施策として、荒廃農地の発生防止・解消、農地転用許可制度の適切な運用が示されています。農業委員会では荒廃農地を解消し有効利用するための取り組みをしていて、その一例が夏に実施している農地パトロールです。現在荒廃農地の比率が全農地の1%以下の良い状況が続いていますが、年々農業従事者の高齢化や優良農地の転用などにより農地の減少が進み、この比率を維持することが難しくなりつつあります。

遊休荒廃農地が発生しないよう農地の有効活用・保全管理を改めてお願いします。

井口 雅文

農業 Hope 訪問

しば よしひろ
柴 吉洋さん (36歳)



今回で紹介するのは木下在住の柴吉洋さん。100件近い作業委託も含め、約二十町歩もの水田を切り盛りする頼もしい若手です。

吉洋さんは、長野県農業大学校を卒業後、家業を継がれました。子どもの頃から誰に言われるでもなく農業をやるものだと思っていた吉洋さん。幼少時代には農家を目指す人ならでは凄い逸話も数多くあったそうです。

9月はじめ、ご自宅近くの水田であきたこまちの刈り取りを見学しました。一反歩の稲を刈り取り、トラックで自宅横に備えた乾燥機に運び投入するまで30分。あまりの早さにびっくりでした。

後継者がなく次々と転用されていく田んぼが増えるなか、吉洋さんのような若手の農家が田園風景を守ってくれることを期待せずにはられません。瑞穂の国の大切な主食を食べ続けていくため、頑張ってください！



おもしろ My 農業

牧場内（かつてのパカパカ塾）を元気に走り回る群れ。
毛の少ないのが乳量が多いポールドーセット種の母。
父は食用用サフォーク種

ひっじ・ひっじ・ひっじ

～ 藤林 司さんのひっじ牧場を訪ねて～

藤林 司さん

(ふじばやしつかさ)

33 歳、箕輪町出身、中曽根在住
学校卒業後は、スノーボードのインストラクターをしつつ、旅をしたり、農家や大工さんなどの手伝いをしていました。
農への強い気持ちは祖父と小学校時代の先生の影響です。24 歳のとき、「農の雇用事業制度」を利用して就農し、みのわ営農の仕事を紹介されて3年ぐらい働きましたが、畜産志向をもってみのわ営農を退き、北海道（釧路）に渡って2年間勉強しました。

箕輪に戻って2年、現在、繁殖用・食用・羊毛用の羊を中心に、30頭まで増やしています。近い将来に100頭ぐらいにまで増やすことを目指しています。

現在、旧パカパカ塾の農地をお借りしていますが、拡大経営が必要なため、もっと広い農地を探しています。みなさま、よろしくお願ひします。



食肉（親肉およびラム）に利用したあと、羊毛は個人取引先が毛糸に加工し、帽子・セーター・手袋およびムートンなどに利用

藤林さんと子羊

誕生時 3kg、3カ月の離乳時には 26kg

農地パトロールを実施しました。遊休農地が荒廃しないよう、引き続き保全管理をお願いいたします

写真は、長年、竹藪と雑木林に覆われていた三日町の上棚地区の荒廃農地です。所有者には毎年の農地パトロールのたびに改善要請をしてきましたが、遠方居住のため放置されたままでした。

昨年、所有者が現地を確認する機会があり、話し合いによって解消・復旧への道筋がつけました。耕作の引受け手も見つかったことで町からの補助金（5年以上の耕作継続などが支給要件）が手当され、重機を投入した解消作業が実施でき、竹・石が多い厄介な農地が有効活用されるようになりました。



リモコン草刈機実演見学

8月25日、福与の農地をお借りして、各メーカーさんのご厚意により、リモートコントロールによる自走式草刈機の最新型2機種の実演会が行われました。

まだまだ高価な機械ですが、傾斜のきつい大土手では、スパイダーモアや刈払機との併用で威力を発揮しそうです（最大斜度40°まで対応可能）。



農地相談でお悩み解決！

農業者年金について

Q 私は80歳になります。農業者年金に15年くらい加入して、現在は支給を受けています。自己所有の農地を農地以外に転用したり売ったりすると、農業者年金は支給停止になりますか？

A 農業者年金は、老齢年金と経営移譲年金（特例付加年金）の2本立てで構成されています。ご相談の事例ですと、老齢年金部分は支給停止にはなりません。経営移譲年金（特例付加年金）部分が支給要件を満たさなくなり支給停止になります。ただし、転用目的が農業用施設の建設である場合など、支給停止にならない例外規定もあります。詳細は、JA上伊那の保険の窓口（0265-79-3211）または農業委員会事務局にお問い合わせください。

次の農業委員会農地相談：2021年1月15日（金）

箕輪町農業関連施策等に関する意見書について

農業委員会は、農業委員会等に関する法律第38条に基づき、9月9日に、白鳥町長に「箕輪町農業関連施策等に関する意見書」を提出いたしました。

意見書では、当町の基幹産業の1つである農業が、魅力ある産業として維持・発展を遂げていくことができるよう、また農業者や就農希望者及び後継者にとって希望ある農業となるような環境整備や、効果的で持続可能な力強い農業を育てるための施策について反映されるよう、主に8つの事項を要望しています。

委員会での話し合いはもとより、農家や町民からの要望、地域営農組合をはじめとした各農業関連団体での意見、人・農地プランの実質化による合意内容等、農に関わる山積する諸課題について、解決案の提示も盛り込んだ意見書になっています（下段に概要を示しています）。

要望の実現にはコストがかかるものが多いため、新型コロナウイルス対策等で町の財政が厳しさを増す折、困難が予想されますが、浦野副町長との懇談も重ね、重要かつ喫緊の課題から1つ1つ解決できるよう、関係者一同、間断なく力を尽くすことを確認しました。

- ・ 荒廃農地の解消
- ・ 優良遊休農地の活用
- ・ 農地の集積・集約
- ・ 新規就農事業
- ・ 地域営農組合の活性化
- ・ 自給的農業・農家の育成
- ・ 農福連携事業
- ・ 農業と生活環境との共存
- ・ スマート農業の推進 など

箕輪町農業委員会の各地区担当委員および関連団体の連絡先など

大槻 博文	沢 9 組	79-3221	向山 壽美治	中原 2 組	79-5782	藤森 英雄	木下南城	79-4596	井口 雅文	福与卯の木	79-3801
藤田 久一	大出 4 組	79-5525	春日 初	松島西小路	79-4370	代田 三男	木下原町北部	79-3570	金澤 博	長岡大門	79-5428
関 幹子	八乙女 1 組	79-3894	日野 正章	松島清水町	79-3505	櫻井 克成	木下一の宮 2	70-8536	根橋 英夫	南小河内福沢	79-0744
柴 恒年（会長）	八乙女 2 組	79-3524	原 義久	松島本町 1	79-5189	向山 勝一（会長代理）	富田 1 組	79-5892	鈴木 健二	北小河内中村	70-6212
小林 正俊	下古田 1 組	79-3312	北條 眞一	木下上二南	79-5541	白鳥 善文	中曾根 3 組	79-5004			
唐澤 太美男	上古田 1 組	79-5405	原 美鈴	木下南部	79-3138	藤澤 昭二	三日町上棚	79-4959			

JA上伊那北部営農センター
農事組合法人みのわ営農 → 79-0636

地区営農組合（5地区）：連絡先は上記の農業委員会の各地区担当委員におたずねください

北部（沢/大出/八乙女/下古田）、中部（上古田/中原/松島）、南部（木下/富田/中曾根）、箕輪（三日町/福与）、東箕輪（長岡/南・北小河内）

箕輪町農業委員会だより 第5号 発行2020年12月1日
農業委員会事務局（役場 産業振興課内）0265-79-3111

編集後記：今年の夏は、雷雨、強風、竜巻、挙句の果てに雹まで降り、果樹農家・野菜農家さんに大被害が発生してしまいました。かつてない荒れ模様でしたが、町内を見てみると、ここ数年は特に北西部に被害が集中しているようにも感じます。この20～30年の間に、気象や環境の変化が災いをもたらしていないか、とても心配です。（博文）